



平成25年度 東部ニューギニア地域 未送還遺骨情報収集事業報告

◆ 平成26年 5月29日

◆ 東部ニューギニア戦友・遺族会



まず、**ホット**な話題

◆ 自由民主党

『戦没者遺骨帰還に関する特命委員会』

＊ 平成25年4月26日発足

＊ 特命大臣のもと

厚労省、外務省、防衛省

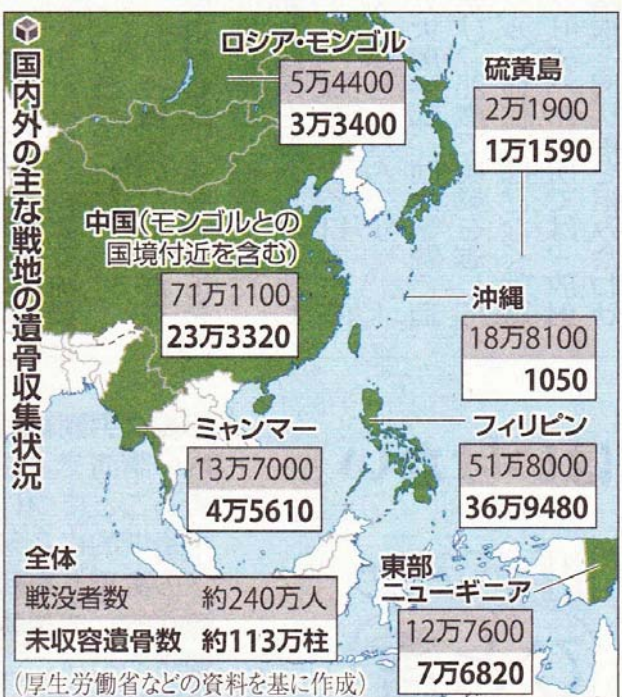
＊ 戦後75年(2020年)までに60万柱を
帰還させる

戦没遺骨収集「国の責務」

自民新法 戦後70年集中調査

自民党は、第2次世界大戦中にアジア太平洋地域や沖縄県などで戦死した旧日本兵や軍属の遺骨収集を加速するため、新法を策定する方針を固めた。遺骨収集事業を「国の責務」と位置付け、戦後70年となる2015年度から10年間を集中取り組み期間とすることが柱だ。公明党や野党に協力を呼びかけ、新法案を超党派の議員立法として今国会に提出することを目指す。

政府は1952年度から遺骨収集に取り組んできたが、厚生労働省によると、戦没者約240万人のうち、約113万人分の遺骨



が収容されていないままだ。海底に沈んだ遺骨などを除き、約60万人分がまだ収集可能とみられている。ただ、遺骨収集事業の法

的位置付けがあいまいで、厚生省が「受け身の姿勢」(自民党幹部)で行ってきたとの指摘が出ていた。自民党が検討中の新法案

では、遺骨収集事業を「国の責務」と明記し、厚生省だけではなく、外務、防衛両省も積極的に取り組むよう義務付ける。縦割りをなくすため、担当相を置くことも盛り込む方向で検討している。

そのうえで、遺骨収集を効果的に進めるための具体的な工程について、政府が基本計画を閣議決定するよう求める。基本計画には、①各国の国立公文書館の関連文書を3年間で集中調査②在外公館に防衛研究所の戦史資料の専門家を配置③遺骨発掘、持ち出しの手続きを迅速に進めるため、関係国と協定や覚書を締結——などを盛り込む方向だ。見つかった遺骨をDNA鑑定できる体制の整備も明記するよう求める考えだ。

自民党は党内手続きを経て、各党との調整を急ぎ、遅くとも秋の臨時国会までの法案成立を目指している。



慰霊事業 (厚生労働省)

- ① 戦没者慰霊のための式典
 - ・全国戦没者追悼式
 - ・千鳥ヶ淵戦没者墓苑拝礼式
- ② 戦没者遺骨帰還
 - ・海外未送還遺骨情報収集事業
⇒ 民間委託
 - ・海外未送還遺骨帰還事業
- ③ 慰霊巡拝
- ④ 慰霊友好親善事業 ⇒ 民間委託
- ⑤ 戦没者慰霊碑の建立

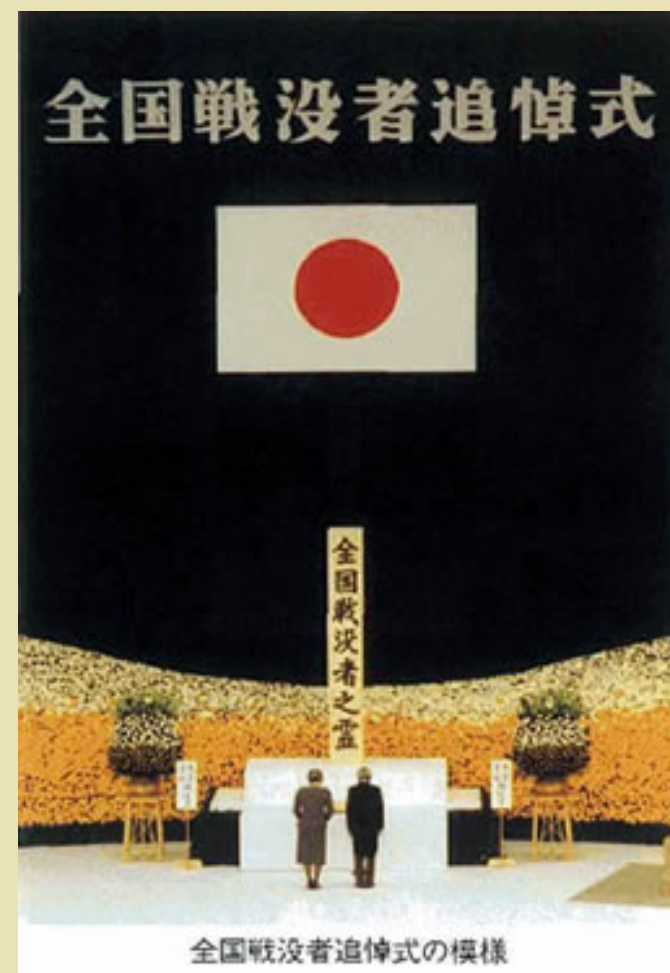
1. 戦没者慰霊のための式典

① 全国戦没者追悼式

毎年8月15日、政府主催により、先の大戦による戦没者310万人を追悼するため、天皇皇后両陛下御臨席のもとに「全国戦没者追悼式」を日本武道館で挙る。

この式典は昭和38年から挙る、昭和57年4月13日の閣議決定により、毎年8月15日を「戦没者を追悼し平和を祈念する日」とし、「全国戦没者追悼式」を挙ることとされた。

式典には政府関係者や各界の代表、全国からの遺族代表など約6千人が参列、参列遺族の一部には国費による旅費の負担が行われる。参列遺族は、各都道府県援護担当課が選考しています。



② 千鳥ヶ淵戦没者墓苑拝礼式

遺骨収容などにより海外などから持ち帰られた戦没者の御遺骨のうち、遺族に引き渡すことのできない御遺骨を東京都千代田区内にある「千鳥ヶ淵戦没者墓苑」に納骨。

併せてこの墓苑に納められている御遺骨に対して拝礼を行う「千鳥ヶ淵戦没者墓苑拝礼式」を、厚生労働省主催により毎年5月下旬に、皇族の御臨席のもとに挙行しています。なお、これまでの納骨数は約36万柱となっている。



千鳥ヶ淵戦没者墓苑拝礼式の模様



2. 遺骨収集事業 (未送還遺骨帰還事業(1))

- 平成17年以前
 - 昭和27年(1952年)以降、生還戦友や在外公館に寄せられた情報にもとづき
 - その都度、収集団を派遣
 - 情報枯渇、収集数減少
- 平成18年・・・幕引き(！？)に向けて
 - 2～3年を目途に、集中的に調査
 - 収集、帰還



2. 遺骨収集事業 (未送還遺骨帰還事業(2))

- 主 管・・・厚生労働省
 - ① 情報収集事業・・・民間委託
 - ・(財)日本遺族会
 - ・ソロモン・ビスマルク諸島地域(第17軍)
 - ・東部ニューギニア地域(第18軍)
 - ② 遺骨帰還事業・・・厚生労働省
 - ・社会・援護局外事室を主体に
 - ・メンバーを全国から公募



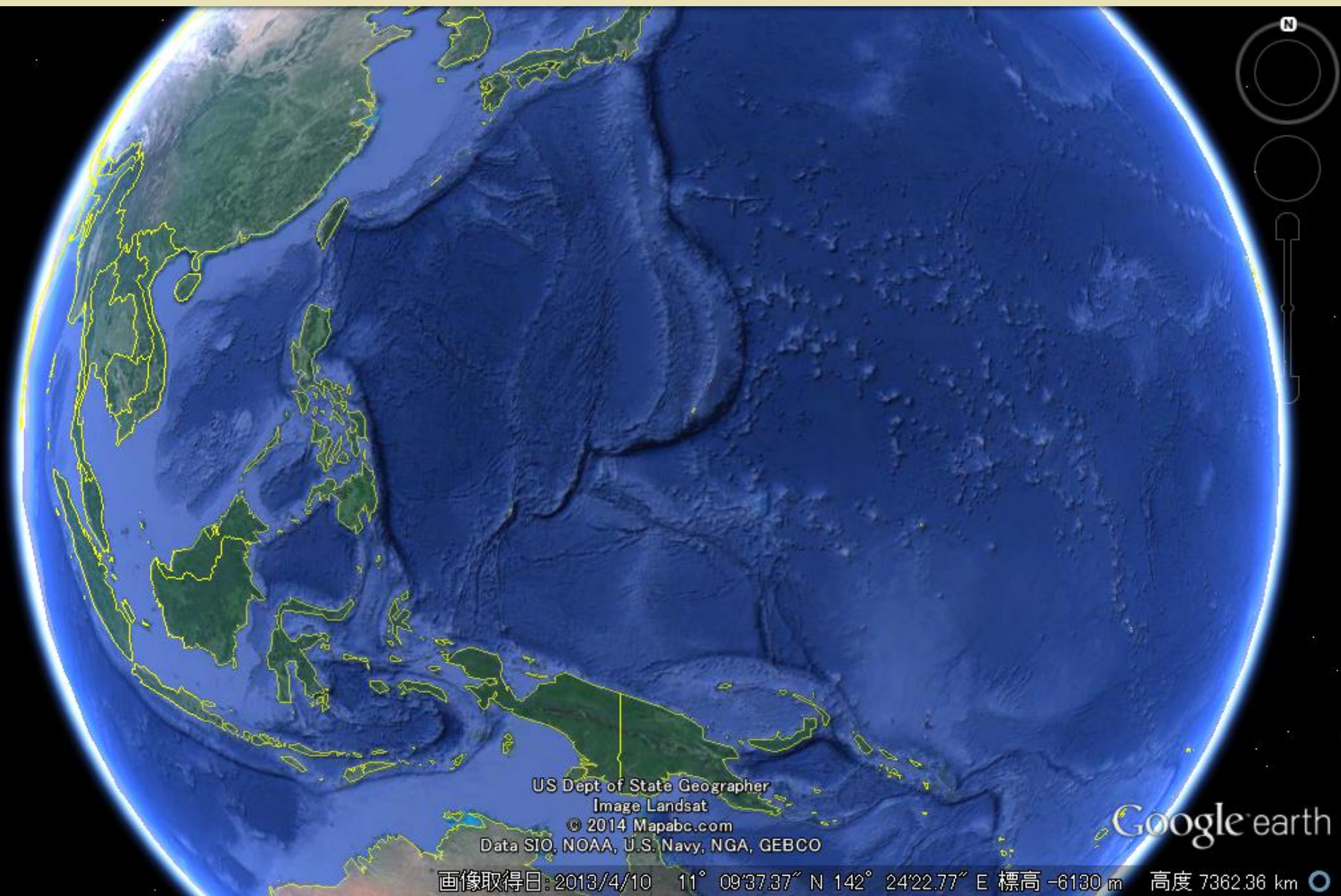
未送還遺骨情報収集事業と収容遺骨柱数 (平成18年度～平成25年度)

ア) 東・西セピック州		エ) オロ州	
調査実施回数	12	調査実施回数	6
収容遺骨柱数	385	収容遺骨柱数	179
イ) マダン州		オ) ミルンベイ州	
調査実施回数	4	調査実施回数	1
収容遺骨柱数	95	収容遺骨柱数	0
ウ) モロベ州		合計 1,297 柱	
調査実施回数	14		
収容遺骨柱数	638		



政府遺骨帰還団収容柱数 (平成19年度～平成25年度)

東セツピク州	313 柱
西セツピク州	72 柱
マダン州	95 柱
モロベ州	638 柱
オロ州	179 柱
合 計	1, 297 柱



US Dept of State Geographer
Image Landsat

© 2014 Mapabc.com

Data SIO, NOAA, U.S. Navy, NGA, GEBCO

Google earth

画像取得日: 2013/4/10 11° 09'37.37" N 142° 24'22.77" E 標高 -6130 m 高度 7362.36 km



Pulau Supiori

チェンドラワシ湾

ビスマルク海

Latangai Island

New Britain

Bougainville Island

アラフラ海

パプアニューギニア

Daru Island

ポート・モレスビー

ソロモン海

バン・ディマン湾

US Dept of State Geographer
Image Landsat
© 2014 Google

Data SIO, NOAA, U.S. Navy, NGA, GEBCO

Google earth

5° 10'35.58" S 143° 57'01.58" E 標高 1763 m 高度 2317.80 km

海外未送還遺骨情報収集事業
東部ニューギニア地域州別実績分布図
(平成18年度～平成25年度政府遺骨帰還団収容柱数)

東・西セピック州
実施回数:12回
収容柱数:385柱

マダン州
実施回数:4回
収容柱数:95柱

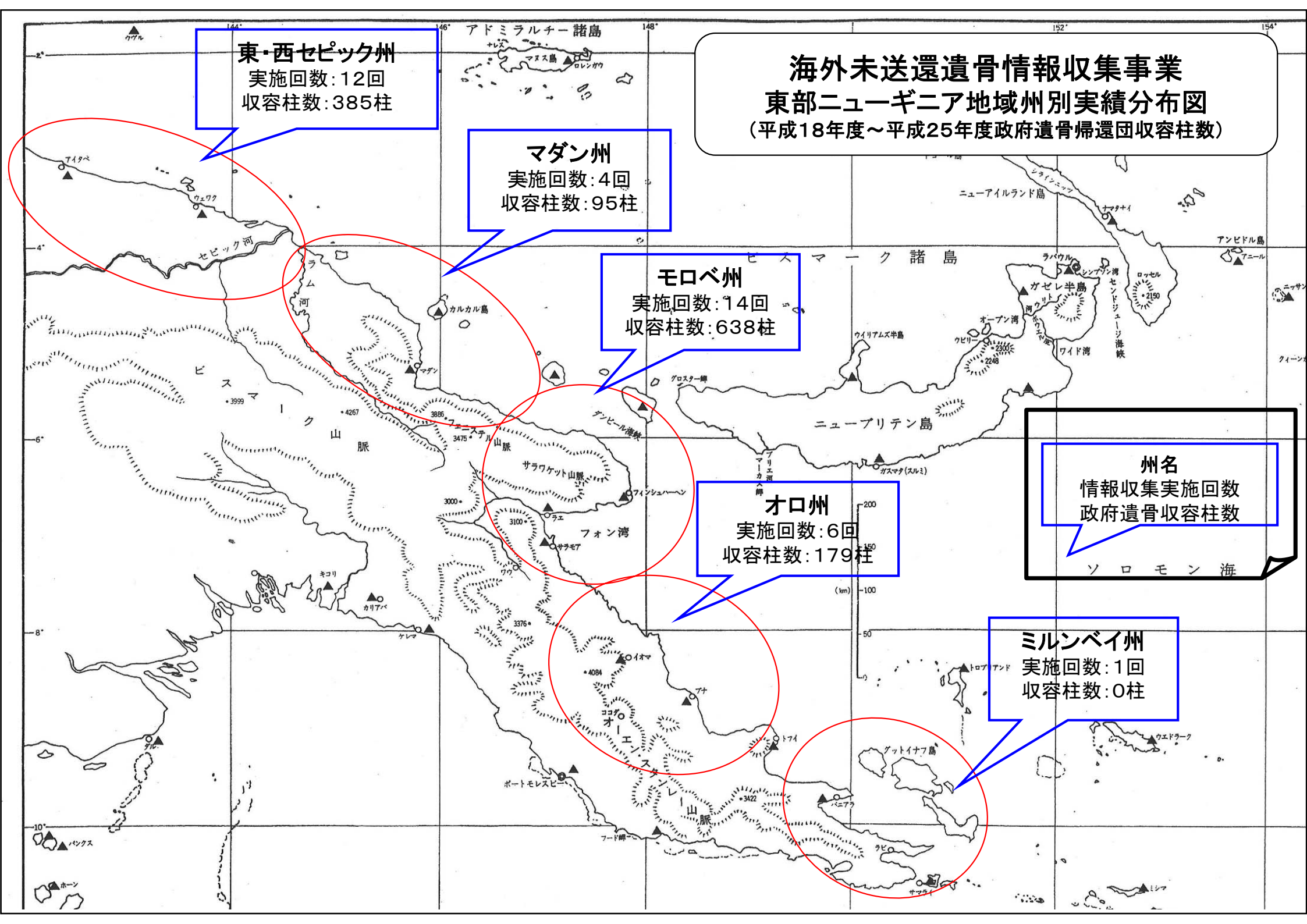
モロベ州
実施回数:14回
収容柱数:638柱

オロ州
実施回数:6回
収容柱数:179柱

ミルンベイ州
実施回数:1回
収容柱数:0柱

州名
情報収集実施回数
政府遺骨収容柱数

ソロモン海





ホーン半島

サラワケット

シアルム

サテルベルグ

ワインシュハーフェン

ライ

Markham Canyon

モロペ

© 2014 Google
Data LDEO-Columbia, NSF, NOAA
Image Landsat
Data SIO, NOAA, U.S. Navy, NGA, GEBCO

Google earth

画像取得日: 2013/4/10 6° 16'43.94" S 147° 10'05.40" E 標高 2338 m 高度 195.18 km

3. 平成25年度の事業

(1) 未送還遺骨情報収集事業

- ・ 第1次 オロ州
- ・ 第2次 モロベ州、マダン州
- ・ 第3次 モロベ州
- ・ 第4次 東セピック州
- ・ 第5次 マダン州、モロベ州
- ・ 第6次 オロ州





平成25年度 海外未送還遺骨情報収集事業 第1次

日 程 平成25年7月27日～8月10日

訪問先 オロ州
サナナンダ、ギレオ（ギルワ）、
ブナの海岸地帯
オイビ、ゴラリ、ココダの内陸地帯

収容数 38柱



平成25年度 海外未送還遺骨情報収集事業 第2次

日 程 平成25年9月14日～9月28日

訪問先 1) モロベ州
ワス、マラサंगा、ロインギ、ケラ
ノア、シアルム、フィンシュハーヘン、
サテルベルグ、ナバック方面等
2) マダン州
ガリ、サイドル方面

収容数 19柱



平成25年度 海外未送還遺骨情報収集事業 第3次

日 程 平成25年10月12日～10月26日

訪問先 モロベ州

ラエ～フィンシュハーヘン沿岸、フィンシュハーヘン、ナンバリア、シアルム、ラエ周辺

収容数 51柱



平成25年度 海外未送還遺骨情報収集事業 第4次

日 程 平成25年11月9日～11月23日

訪問先 東セピック州
ウェワク～ボイキン～ソアム
マプリック～以西
アンゴラム～マリエンベルグ～マンセッ
プ
西セピック州
マタパウ～坂東川周辺(アフア、ヤカムル)

収容数 29柱



平成25年度 海外未送還遺骨情報収集事業 第5次

日 程 平成25年12月7日～12月21日

訪問先 1) マダン州
ボギア、マダン、テプテプ方面
2) モロベ州
ドゥンプ、カИАピット、ナバック方面

収容数 34柱（後の再鑑定で25柱に修正）



平成25年度 海外未送還遺骨情報収集事業 第6次

日 程 平成26年2月15日～2月22日

訪問先 オロ州

カプラハンボ、バゴウ、ゲオト村

収容数 1柱



3. 平成25年度の事業

(2) 遺骨帰還事業

派遣者 厚労省 3名、日本遺族会 2名、
JYMA 1名、
東部ニューギニア戦友・遺族会 3名

日程 平成26年1月15日～1月30日

訪問先 モロベ州
ラエ
東セピック州
ウェワク、ボイキン

帰還数 141柱



村落を訪ねて事業説明と情報収集



集團埋葬地



発掘作業



発掘作業



発掘作業



ご遺骨と遺留品



ご遺骨と遺留品



頭骨と銃弾



ブナの慰霊碑

ココダの慰霊碑



東部・ユーキーズ
日本軍慰霊塔
ココダの丘の碑

2013/08/07 16:36

ギレオの
未受領遺骨



ブナの未受領遺骨





ボートで移動



宿舎に借り上げた民家



保管中に火災に遭ったご遺骨



一面が血の海になったと言われる
スカーレットビーチ



サッテルベルグ高地遠望



弾薬庫として使われていたと言われる洞窟



ラエ（モロベ州）の野澤氏宅に仮安置



ボイキンの試掘現場



ボイキンの試掘現場
大腿骨一対確認



スビゲン試掘協力者
(ダグア周辺)



スビゲンで発掘したご遺骨
(ダグア周辺)

REMAINS OF A JAPANESE DEAD SOLDIER

DOG TAG



Following pictures show the remains of a Japanese Soldier believed to be killed during the WW2 in Papua New Guinea.

The remains was found at Maem Barracks, Wewak, East Sepik Province by two young boys, **Michael and Johnson Hiviki (Jnr)**, who were checking the remains of the high rise water s on Wednesday 10th 2008.

The boys found the Dog Tag with the particulars as shown on the picture. The details are in Japanese.

The remains was removed before being destroyed by the Rising Seas and is now kept awaiting the claim by the responsible Authorities and Family members for a decent burial.



GOLDEN TOOTH STILL ON THE JAW

Please contact: Mrs Ottilla Hiviki on Mobile Nr: 72193456 or P.O Box 360, Wewak, ESP, or Contact Corporal Chagur Patrick (PNGDF Maem Barracks) on Ph: 8563317 or 8563358 or write to: P.O. Box 33, Wewak, East Sepik Province. Email: chagur.p@pngdf.mil.pg
information regarding the subject.

モエム (松の岬) 軍宿舎居住者提供の
ご遺骨 (日本軍認識票)



ウルップ集落の慰霊碑
(故永峰副会長建立)



2013.11.17
ULUPU
Tale Nalramini
1枚

2013.11.17
ULUPU
Zachary Kambia
1枚

2013.11.17
ULUPU
Zachary Kambia
1枚

ウルップのご遺骨提供者



2013.11.19

Sulwanunbu

Kabika River

保管ご遺骨提供 カルミス父子



スワヌンプ保管のご遺骨



坂東川（ドリニュモール川）下流方向



坂東川（ドリニュモール川）上流方向



長野県ニューギニア会の慰霊碑（ソアム）



バラムの慰霊碑
塔婆の上に住居建築



厚労省慰霊巡拝団追悼式
(ウエワク平和公園)



厚労省慰霊巡拝団追悼式に参列



The image shows three large, white, woven plastic bags filled with human remains, likely skeletal remains, arranged in a row inside a storage container. Each bag is tied at the top and has handwritten markings in black ink. The top bag is labeled with the number '131' and the date '1-25-89'. The middle bag is labeled with the number '2' and the date '1-25-78'. The bottom bag is labeled with the number '1' and the date '1-25-78'. The bags are placed on a white surface, and the container has a dark frame. The lighting is bright, casting shadows on the bags.

第4次派遣団収容ご遺骨



ニューエワクホテルにご遺骨を仮安置



ヤボブの丘慰霊碑（マダン）
東部ニューギニア戦友会建立



碑 面



ポツダムの発掘現場



ポツダムで発掘したご遺骨

A group of approximately 12 men are posed on a sandy beach. In the background, a large, conical mountain (Mount Fuji) is visible across the water. The scene is framed by lush green trees and a palm tree on the right. The men are dressed in casual clothing, including t-shirts, shorts, and a uniform. Some are standing, while others are crouching in the front row.

ポツダムの発掘協力者
後ろはマナム島（ハンサ富士）



フィニステル山系

An aerial photograph of a mountain range. The mountains are covered in dense green vegetation, with several prominent, light-colored rocky ridges and gullies running down the slopes. The terrain is rugged and mountainous. The text "フィニステル山系" is overlaid in yellow at the bottom center.

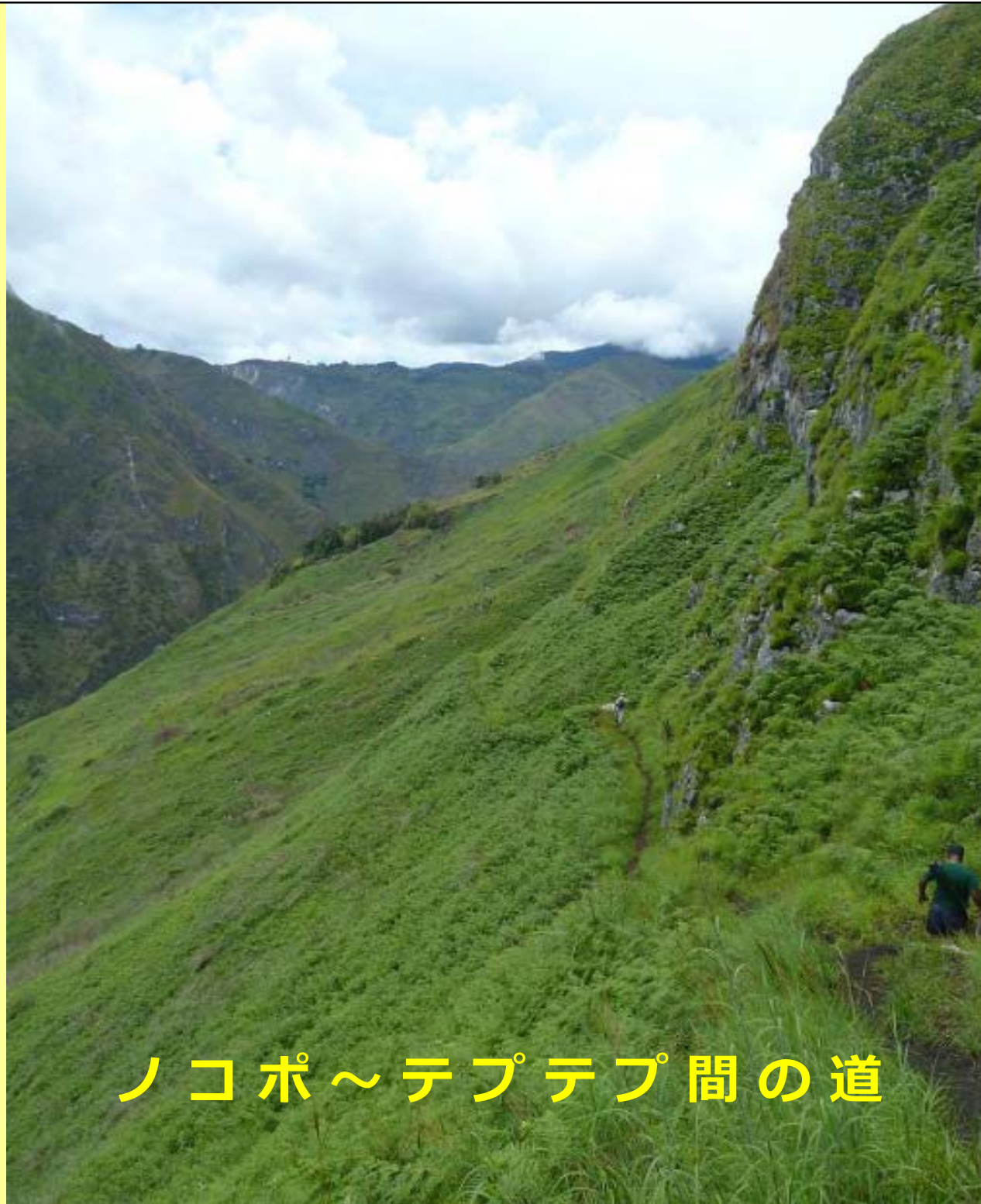
フィニステル山系



フィニステル山系



デプデプで事業説明・情報収集



ノコポ〜テプテプ間の道



テプテプ ゲストハウス



夜も焚き火のそばで
(テプテプ ゲストハウス)

A young tree kangaroo with brown and white fur is clinging to the vertical metal bars of a cage. The animal's face is visible, showing a pink nose and dark eyes. The cage is made of metal bars and is situated outdoors, with a building and some greenery visible in the background. In the foreground, there are some green leafy plants and a white container.

こんな可愛いのがいました
(木登りカンガルー)



豪州軍の発掘現場（2柱）

2014.10.2 / 16 14:41



2014/02/16 14:44

5 柱を発掘

TAKAGI FIELD MUSEUM

Named after a Japanese
Officer Takagi Tsune Fumi
who fought and died on
this battle front

2014/02/18 08:10

高木ミュージアム

石故南海支隊壺万柱將兵之靈

故阿部幹雄曹長之靈

経

能入禪定
見十方仏

為故独立工兵第十五聯隊勇士之靈

経

能救苦
觀音妙智

為故独立工兵第十五聯隊勇士之靈

故勝瀬役二郎軍曹之靈

故高木義文少佐之靈〔砲と共〕

2014/02/18 08:06

慰靈団の卒塔婆



2014/02/18 07:47

現場調査



2014/02/18 07:54

発掘も見つからず



2014/02/20 10:00

保管遺骨の確認



国立博物館表敬訪問



モロベ州 州政府表敬訪問



東セピック州 州政府表敬訪問



日本大使館 大使公邸 表敬訪問



ご遺骨の再鑑定を前に



鑑定済みご遺骨を洗骨（住民も協力）



焼骨準備整う



焼 骨 式

経過報告する団長



点火



烧骨中



烧 骨 中



冷却中



骨上げ（住民も協力）



ムヤの人たちも入って記念撮影



ボイキングの地権者たちと



ボイキンの現場へ向かう道で泥濘にはまる



発掘作業中



ご遺骨確認



発掘したご遺骨



発掘作業協力者



同行鑑定人（国立博物館職員）



東セピック州 同行警察官



焼 骨 式 （ニューウェワクホテル中庭）



骨上げ (ニューウェワクホテル中庭)



日本遺族会・東部ニューギニア戦友・遺族会
派遣者



追悼式（ウェワク平和公園）



東部ニューギニア戦友・遺族会

花 供



追悼式参列者



遺骨箱封印 (大使館)



遺骨仮安置（KKRホテルで一夜）



遺骨引渡し式（千鳥が淵戦没者墓苑）



派遣団解団式を終えて

平成26年度 未送還遺骨情報調査、遺骨帰還事業等予定 (東部ニューギニア地域)

名称・対象地域等	実施予定期間
マダン州ボギア、ラム川、オロ州ブナ、サナナンダ	7月19日 ～8月2日
モロベ州ワス、ワップ、ナンバリワ、テプテプ	8月30日 ～9月13日
東セピック州ボイキン、サウリ、ソナム、山南	9月27日 ～10月11日
モロベ州サラモア、カミアタム、ボブダビ、ムボ	11月15日 ～11月29日
モロベ州フィンシュハーフェン、シアルム、テプテプ	12月6日 ～12月20日
遺児による慰霊友好親善事業（東部ニューギニア第1次）	10月4日 ～10月11日
遺児による慰霊友好親善事業（東部ニューギニア第2次）	2月7日 ～2月14日
遺族による戦跡巡拝（遺児・弟妹等）	9月20日 ～9月27日
遺骨帰還応急派遣&情報精査派遣等	
遺骨収集帰還事業派遣（厚労省・民間団体）	1月14日 ～1月29日

平成26年度 遺骨収集帰還実施計画表

	地域／実施時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	硫黄島												
		4月上～3月下											
2	沖縄												
				6月下～7月上									
3	ロシア連邦ハバロフスク地方①												
				7月上～7月中									
4	ロシア連邦ハバロフスク地方②												
				7月中～7月下									
5	ロシア連邦沿海地方												
				7月中～7月下									
6	東部ニューギニア												
										1月中～1月下			
7	ビスマーク・ソロモン諸島												
												2月下～3月上	

※実施時期、期間等は、現地事情により変更することがあります。

※フィリピンについては、現在フィリピン共和国政府と実施方法について協議中であり、協議が整い次第再開することとしています。

平成26年度 戦没者遺骨収集帰還事業参加申込書（ソ連・南方）

県名				
参加希望者氏名	ふりがな		性別	戦没者との続柄
			男・女	戦没者の
生年月日	昭和 年 月 日生 満 才（平成 年 月現在） 平成			
本 籍				
現 住 所	〒 電話 携帯電話			
現在の職業	職 業 名		会社名	
	勤務先所在地		電話	
パスポートの有無	有・無	平成 年 月 日 まで有効		
支部における役職				
健康状態 （持病の有無）				
参加希望地域	※1地域のみ記入願います。「どこでも」等は不可とさせていただきます。			
居住地都道府県遺族会会員登録の有無		会員である ・ 会員でない		
遺児の慰霊友好親善事業への参加経験		※ ある ・ ない ※平成 年度 地域		
遺骨収集帰還事業への参加経験		※ ある ・ ない ※平成 年度(直近) 地域 過去参加回数 回		
戦 没 者	氏 名		戦没時 の本籍	(都道府県名のみ)
	階 級		所 属 部隊名	
	戦没 年月日	昭和 年 月 日	戦没地点	
戦没者遺骨帰還事業について上記の通り申し込みます。 平成 年 月 日 申込者氏名 印				
支 部 受 付	平成 年 月 日 (担当者)			
本 部 受 付	平成 年 月 日 (担当者)			

(注) 申込書の提出は、都道府県支部を通じて本部宛送付願います。

※この申込書は個人情報保護法に基づき保護されます。詳しくは本会のホームページ
もしくは本会事務局にお問い合わせください。

平成26年度 慰霊巡拝実施計画表

【別

	派遣地域		実施予定時期	実施期間	募集予定人員	備考
1	旧ソ連	アムール州	8月24日（日）～ 9月2日（火）	10日間	15名	
2	旧ソ連	ハバロフスク地方	8月31日（日）～ 9月9日（火）	10日間	15名	
3	旧ソ連	沿海地方	9月25日（木）～ 10月2日（木）	8日間	15名	
4	旧ソ連	カザフスタン共和国	10月7日（火）～ 10月16日（木）	10日間	15名	
5	中国	東北地方	9月2日（火）～ 9月9日（火）	8日間	10名	
6	南方	硫黄島（第1次）	7月8日（火）～ 7月9日（水）	2日間	100名	
7	南方	東部ニューギニア	9月20日（土）～ 9月27日（土）	8日間	30名	
8	南方	硫黄島（第2次）	9月23日（火）～ 9月24日（水）	2日間	100名	
9	南方	インド	11月9日（日）～ 11月20日（木）	12日間	15名	
10	南方	マリアナ諸島	11月29日（土）～ 12月6日（土）	8日間	15名	
11	南方	トラック諸島	1月24日（土）～ 1月31日（土）	8日間	15名	
12	南方	フィリピン	2月18日（水）～ 2月27日（金）	10日間	60名	
13	南方	硫黄島（第3次）	2月24日（火）～ 2月25日（水）	2日間	100名	
14	南方	マーシャル諸島	3月7日（土）～ 3月15日（日）	9日間	20名	

※ 実施予定時期・実施期間・募集予定人員は、現段階の案であり変更することがあります。

平成26年度・戦没者遺児による慰霊友好親善事業・実施計画概要

	実施地域	実施期間		参加人数	申込締切
		上	下		
1	旧満州	平成26年8月1日(月)～8月13日(水)	8月10日	40人	平成26年6月12日
		・A班＝ハルビン、チチハル、竜江、ハルビン、瀋陽 ・B班＝大連、牡丹江、延吉(延吉市延吉)、延吉、長春、瀋陽			
2	西部ニューギニア	平成26年8月27日(木)～9月5日(金)	8月10日	30人	平成26年7月12日
		・A班＝ジャヤプラ(旧ローレンジャヤ)、ダニム、ビタ島 ・B班＝ポラハ、マヌタラ			
3	旧ソ連	平成26年9月1日(月)～9月2日(火)	8月9日	40人	平成26年7月12日
		・A班＝ハバロフスク、ユムリノリスタ、ビロビジャン、イーストコーク ・B班＝イルーツク、オヤ			
4	マリアナ諸島	平成26年9月24日(木)～9月30日(水)	8月7日	40人	平成26年8月12日
		・A班＝グアム島、サイパン島、・B班＝イニオン島、マニラ島			
5	東部ニューギニア (1次)	平成26年10月1日(土)～10月11日(土)	7月8日	40人	平成26年8月20日
		・A班＝マダン、ウェウタ、ボイキン、ブー ・B班＝カニンギン、カニンギン、カニンギン、カニンギン			
6	トラバンコ諸島	平成26年10月11日(土)～10月18日(土)	7月8日	40人	平成26年8月24日
		・A班＝カニンギン、カニンギン、カニンギン、カニンギン ・B班＝カニンギン、カニンギン、カニンギン、カニンギン			
7	ボルネオ・ マレー半島	平成26年10月21日(水)～10月30日(水)	9月10日	40人	平成26年9月6日
		・A班＝マナサス、カニンギン、カニンギン、カニンギン ・B班＝マナサス、カニンギン、カニンギン、カニンギン			
8	フィリピン (1次)	平成26年11月4日(土)～11月11日(土)	7月8日	30人	平成26年9月12日
		・A班＝マニラ及び東方山地 ・B班＝マニラ、マニラ、マニラ、マニラ ・C班＝マニラ、マニラ、マニラ、マニラ ・D班＝マニラ、マニラ、マニラ、マニラ ・E班＝マニラ、マニラ、マニラ、マニラ ・F班＝マニラ、マニラ、マニラ、マニラ			
9	ソロモン諸島	平成26年11月11日(土)～11月22日(土)	7月8日	20人	平成26年9月12日
		・A班＝マニラ、マニラ、マニラ、マニラ			
10	ミャンマー (1次)	平成26年11月27日(木)～12月6日(土)	9月10日	60人	平成26年10月12日
		・A班＝ヤンゴン、バグダ、トンダー、モルメン ・B班＝ミートキー、マングレー、マングレー、マングレー ・C班＝ヤンゴン、マングレー、マングレー、マングレー			
11	台湾・バンコク	平成27年2月3日(土)～2月11日(水)	8月10日	10人	平成26年12月22日
		・A班＝台中、高雄、基隆			
12	南部ニューギニア (2次)	平成27年2月2日(土)～2月14日(土)	7月8日	40人	平成26年12月22日
		・A班＝マダン、カニンギン、カニンギン ・B班＝マダン、カニンギン、カニンギン			
13	ミャンマー・インド (2次)	平成27年2月12日(木)～2月21日(土)	9月10日	60人	平成26年12月22日
		・A班＝バグダ、トンダー、モルメン、マングレー、ヤンゴン ・B班＝ミートキー、マングレー、マングレー ・C班＝ヤンゴン、マングレー、マングレー			
14	フィリピン (2次)	平成27年2月12日(木)～2月21日(土)	7月8日	30人	平成27年1月22日
		・A班＝マニラ及び東方山地 ・B班＝マニラ、マニラ、マニラ、マニラ ・C班＝マニラ、マニラ、マニラ、マニラ ・D班＝マニラ、マニラ、マニラ、マニラ ・E班＝マニラ、マニラ、マニラ、マニラ ・F班＝マニラ、マニラ、マニラ、マニラ			
15	中国	平成27年3月22日(金)～3月28日(土)	8月10日	40人	平成27年2月12日
		・A班＝北京、天津、上海、南京、武漢 ・B班＝上海、南京、天津、北京 ・C班＝上海、南京、天津、北京			

上記15地域の他に特定地域として下記3地域を行う予定です。

1	西部ニューギニア	平成27年1月19日(月)～1月28日(水)	9月10日	30人	平成26年12月22日
		・A班＝ジャヤプラ、ダニム、ビタ島 ・B班＝ポラハ、マヌタラ			
2	ビスマーク諸島	平成27年2月7日(土)～2月14日(土)	7月8日	30人	平成26年12月22日
		・A班＝マダン、カニンギン、カニンギン ・B班＝マダン、カニンギン、カニンギン			
3	マニラ・マニラ諸島	平成27年3月14日(土)～3月22日(土)	8月10日	30人	平成26年11月22日
		・A班＝マニラ、マニラ、マニラ ・B班＝マニラ、マニラ、マニラ			



おわり

ご清聴有難うございました。